

般質問



たなかたつお
田中立男議員
が町に問う！

国の補助金を受けて運営を

答弁 補助要件が限定的で難しいと捉えています

Q 現行のデマンドタクシーは、国からの補助金を受けずに運営されているが、今後は、
A 都市政策課長 改めて国土交通省関東運輸局に確認をしましたが、運行形態を変更しても補助要件が限定的で、補助を受けることは難しいとの見解でした。

Q 物価高騰が続く中での料金値上げを、町はどう捉えているのか。
A 都市政策課長 持続可能な事業とするために改定したものと理解しています。

Q 当町も予約制にできないか。
A 都市政策課長 運行事業者に確認したところ「保有する車両や乗務員が限られていること」「乗務員の高齢化や新たな人員の確保」などの課題から、予約制の導入は難しいとの回答を受けました。

Q 乗降場所は自由とすべきでは。また、日・休日の運行や、運行時間の拡大を求めるが。
A 都市政策課長 いずれも、路線バスや一般タクシーとの競合に配慮するために設定したもので、運行形態の見直し等は、今後も「公共交通活性化協議会」の中で検証・協議し、よりよい公共交通施策となるよう進めていきます。



9年目を迎えたデマンドタクシー



いなむらじょうじ
稻村壱治議員
が町に問う！

任期満了後の定着は

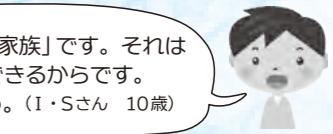
答弁 定住定着に向けてサポートします

Q 任期満了を間近に控えた隊員が定住・定着できるよう、町としてサポートはできているか。
A 政策推進課長 起業・就業を含めて当町に定住・定着できるか、各課で定期的に面談を行っています。任期満了を見据えて、資格取得や研修等の費用を活動費として承認しています。また、起業・事業承継支援補助金の周知も行っています。

Q 町にとって文字どおり「地域をおこした」かけがえのない存在だが、連携は取れているか。
A 政策推進課長 任期満了後の隊員と継続的に連携を図る制度はありませんが、「ワーキングロビーネット」で現役隊員との情報交換の場として月1回程度のミーティングを行っています。



まちづくりに参画するOB队员



た ばたよしなり
田端良成議員
が町に問う！

財政改革

答弁 今の水準で財源を確保は

Q が、収支バランスは取れるか。
A 政策推進課長 少子高齢化に起因する社会保障関連の義務的経費や、公共施設の老朽化・物価高騰による施設の維持管理費は増加傾向で、現状のまでは収支バランスは取れません。財政的に持続可能となるよう財源確保の取組や既存事業の見直し等を図っています。

Q 住民税に替わる安定的な財源の確保は。
A 政策推進課長 人口減少に伴う住民税額は今後減少の見通しです。この減少分を補填する方法交付税(1)がありますが、減少分の全てを補填するものではありません。今の水準で財源を維持することは難しい状況と認識しています。

Q 減少する住民税に替わる財源維持に向けた具体的な取組は。

Q 賀出において、今後も経常的経費や義務的経費(2)が増加する



企業誘致による財源確保を



しまざきたかお
島崎隆夫議員
が町に問う！

学びの場

答弁 発達段階を理解し適時適切に進めます

Q 一人一人に寄り添いながら個性を尊重した教育が進む一方で、協調性などを身につける機会が減つていると危惧する。その点をどう考えているか。
A 学校教育課長 ゼロ歳から15歳までを一貫として捉え、発達段階を理解し、適時適切な教育を継続的に進められるように、研究・推進しています。

Q 登下校時の安全確保には地域の皆さんも一役を担っているが「通学路の安全確認」はどうのに行われているか。
A 学校教育課長 県や警察署と連携し、5年ごとに通学路の総点検を行い、計画的に安全対策を行っています。

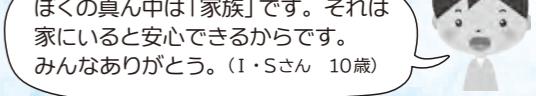
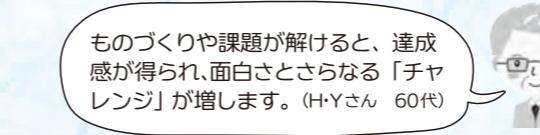
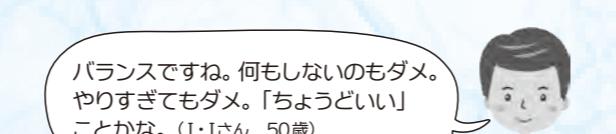
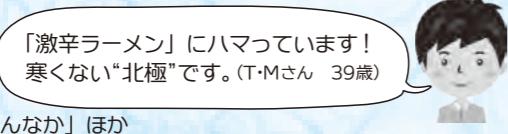


東中の再編も進む。特色ある教育を

Q これまでの運動器具や敷地内の樹木を、毎月点検しています。
A 学校教育課長 設置されている全ての運動器具や敷地内の樹木を、毎月点検しています。



まちづくりに参画するOB队员



小川町議会だよりは
見出しへコダワル！

内容が一目でわかり、記事を読みたくなる見出しつけます。